



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011

知の新世紀を拓く

資料2

科学技術・学術審議会学術分科会  
研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会  
(第32回)平成22年4月22日(木)

# 九州大学ライブラリーサイエンス専攻(仮称)

2010年4月22日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会  
学術情報基盤作業部会資料

報告者:九州大学附属図書館副館長  
大学院医学研究院教授 吉田素文



九州大学

## 1) 急速な情報化による社会の変容

- 急速な情報化による以下のような新たな問題
  - 電子化された大量かつ流動的な情報の氾濫
  - 「必要な情報をいつでもどこでも獲得したい」という利用者の要求
  - 最適な情報を評価・選別し提供を行うことが困難

## 2) 情報利用の意義

- 情報の収集・活用により生成された**実践知**→**実践知**を**理論知**として学ぶ→**知の継承**、新たな**創造(知の創造・継承プロセス)**
- “**知の創造・継承プロセス**”における情報の管理と提供⇒「**ヒト**」と「**場**」

## 3) 高度情報化社会に求められる新たな人材

- 情報利用者の知的活動を支え情報を管理し提供する人材
- 急激な情報化社会における情報管理のあり方を探求する人材
  - 「情報の検索や発信のための技術」「情報に関する技術やシステムの管理、設計能力」「法律に関する知識とその運用能力」など

## 4) 本学に開設する意義

- 本学独自の学府・研究院制度
- 社会が抱える課題から科学を捉え直し人材を養成する統合新領域学府の活用
- 人材養成、学問領域の開拓の場として図書館、大学文書館の利用
  - サービス機能の高度化、電子コンテンツの整備(図書館)
  - 特色ある史資料の系統的な収集(付設記録資料館)
  - 大学史料の組織的集中的な保存、管理→提供(大学文書館)

現在、この領域で求められる人材養成の場、新しい学問領域を開拓する場として、わが国唯一の存在



大学院 統合新領域学府

平成21年度設置

## 統合新領域学府のコンセプト

各部局の細分化した理論や実践知の統合により、新たな知の創造を行う



## ライブラリーサイエンス専攻

- 修士課程(23年4月)
- 博士後期課程(25年4月)

知の情報についての  
新たな学問領域を開拓する

CLICK! 

大学院 統合新領域学府

Graduate School of Integrated Frontier Sciences

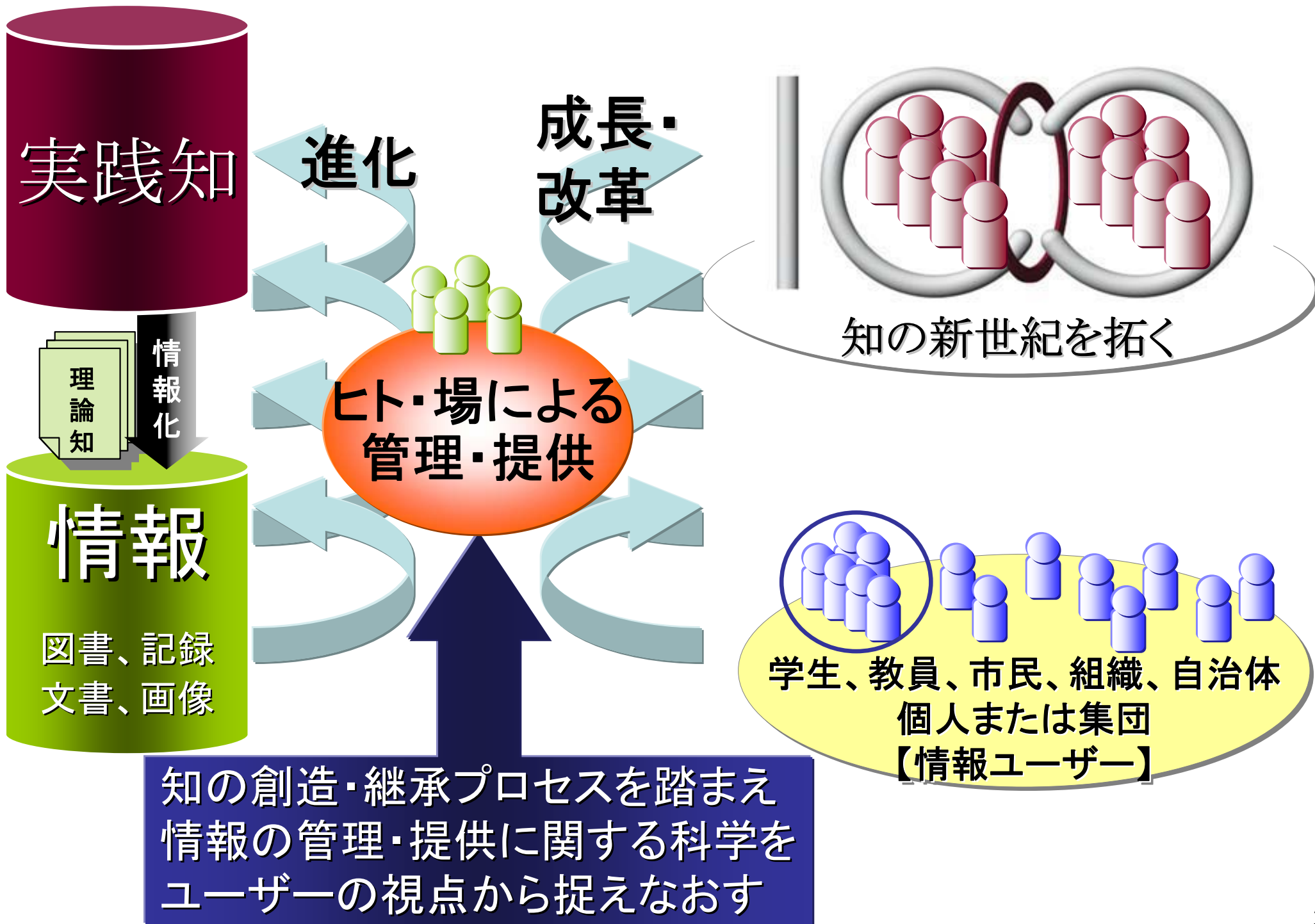
新領域の課題解決

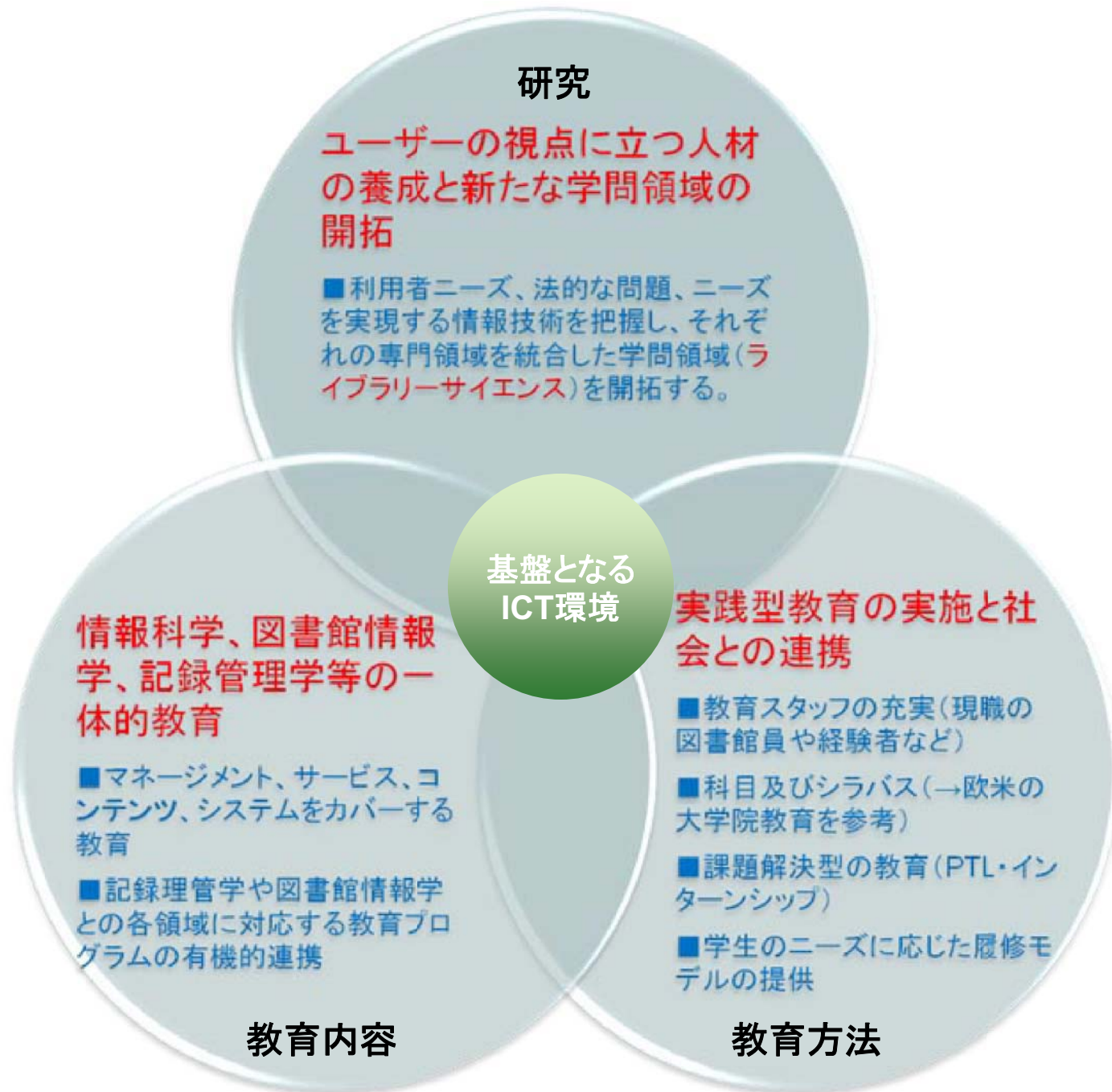
新しい知の仕組みを必要とする  
科学、社会、環境等の課題

知の統合

新しい知の創造と  
高度な専門人材育成知の細分化と  
知のエントロピーの増大

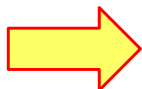
統合新領域学府は、学問の細分化によって生み出された膨大な知を再編成し、統合的な新しい科学的な知や価値を追求して、現代の科学や社会の重要課題の解決に取り組むとともに、そのために必要とされる高度な専門的人材の育成をはかることを目指しています。





## 文系と理系の枠を超えて社会の変化に対応できる人材の育成を目指す

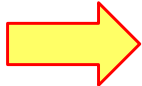
情報専門職・管理者



特定領域の知に関する情報専門職  
問題解決や戦略立案における専門的な助言、  
指導を行える情報管理者  
＜サブジェクトライブラリアン等＞



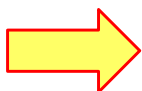
記録部門担当者



国及び地方公共団体の文書館・記録管理部門  
における専門家  
＜レコードマネジャー、アーキビスト等＞



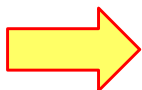
記録管理の専門家



記録管理の委託業務を請負う専門業者  
電力会社、製薬会社などに派遣  
＜データマネジャー等＞



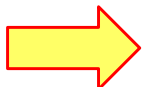
情報通信技術の  
専門家



情報ユーザーの要求に対し、問題解決に情報  
技術を応用し、理論構築やシステムを開発する  
情報技術の専門家  
＜SE等＞

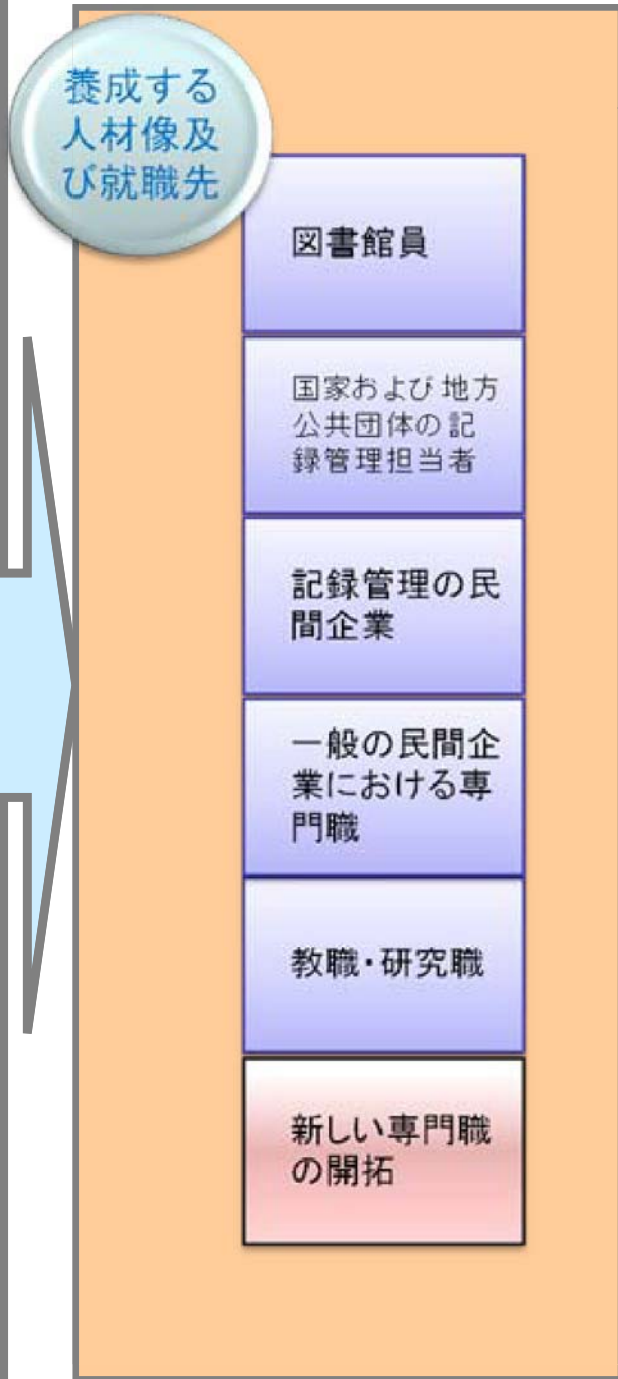
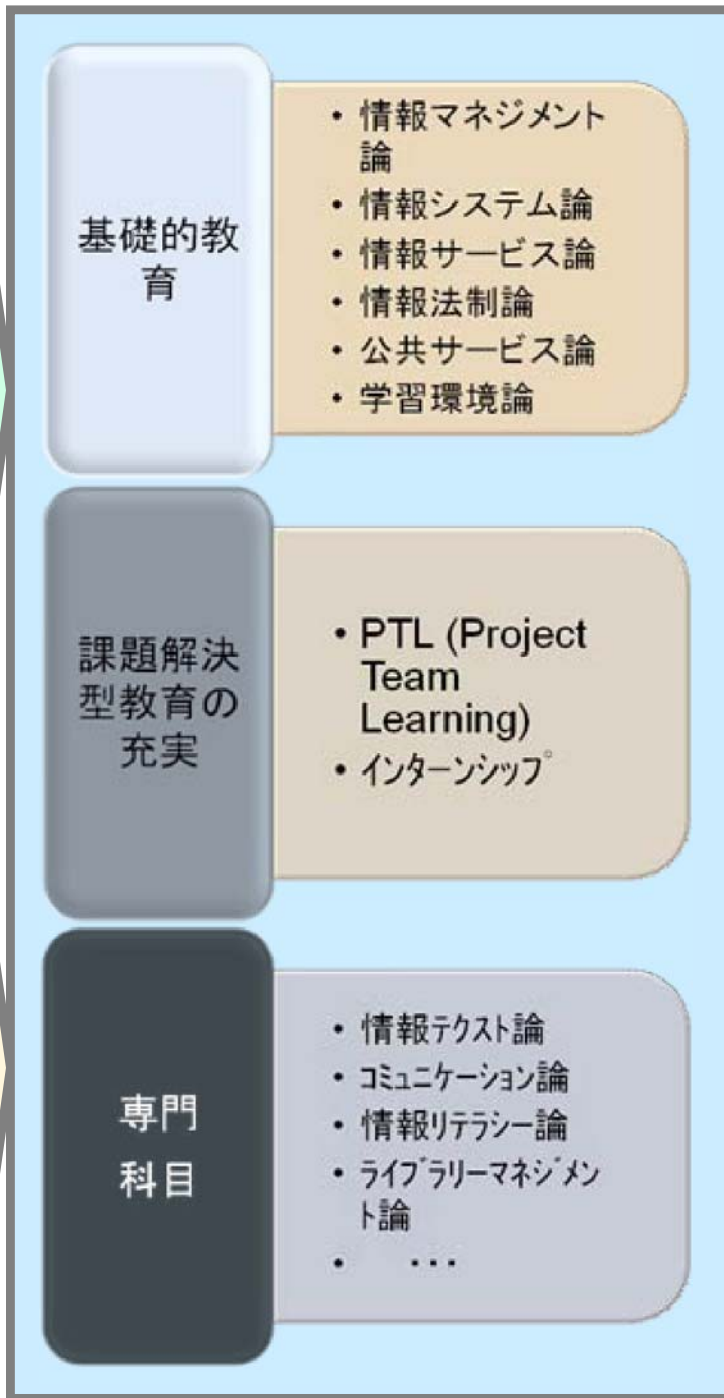
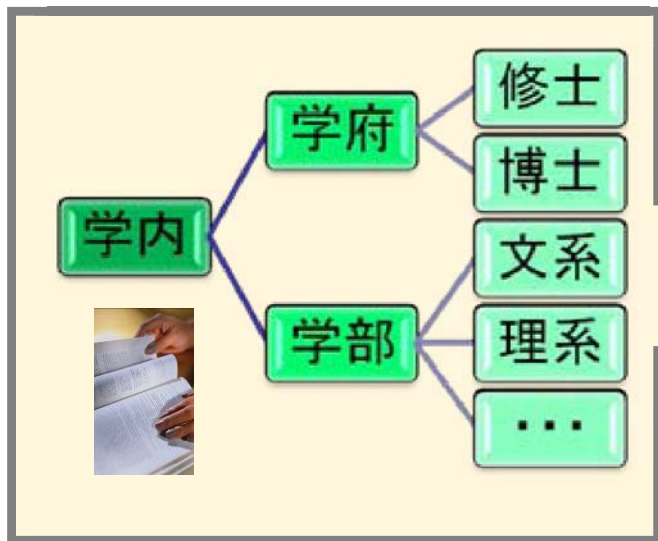
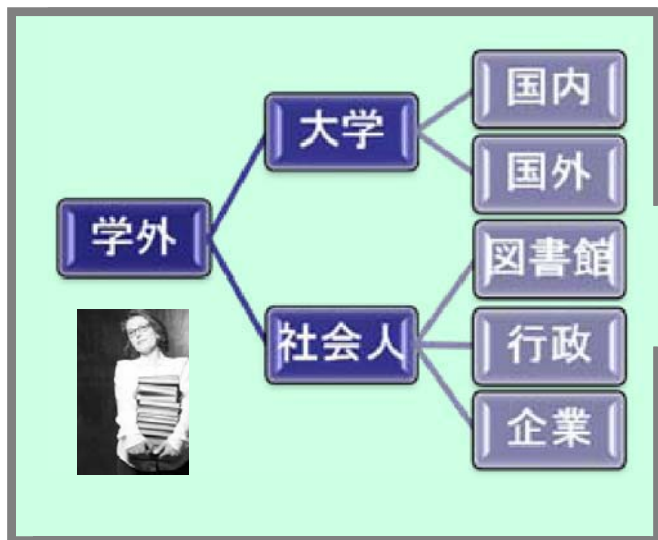


研究者



情報の利用者の目的にかなう「人、場による管  
理・提供」を研究開発する研究者  
＜研究者等＞





科目名:配当年次			単位数			授業形態		
			必修	選必	自由	講義	演習	実習
特別研究	特別研究(1)	1前・後	2				●	
	特別研究(2)	2前・後	4				●	
	小計(2科目)							
基礎科目	情報マネジメント論	1前	2			●		
	情報システム論	1前	2			●		
	情報サービス論	1前	2			●		
	情報法制論	1後	2			●		
	学習環境論	1後	2			●		
	総合演習	1前	2				●	
	小計(6科目)							
PTL インターンシップ	知識管理・図書館科学 PTL(1)	1前		2			●	
	知識管理・図書館科学 PTL(2)	1後		2			●	
	知識管理・図書館科学 PTL(3)	2前		2			●	
	インターンシップ	1後・2前	1					●
	小計(4科目)							

**必修科目・基礎科目  
・インターンシップ・PTL**

科目名科目名:配当年次			単位数			授業形態	
			必修	選必	自由	講義	演習
専門科目	情報テキスト論	1前		2		●	
	コミュニケーション論	1前		2		●	
	情報リテラシー論	1後		2		●	
	ライブラリーマネジメント論	1前		2		●	
	ライブラリー政策論	1後		2		●	
	レファレンスサービス論	1後		2		●	
	ライブラリー資料論	1前		2		●	
	ライブラリー特殊資料論	1後		2		●	
	文書記録マネジメント論	1前		2		●	
	文書記録管理政策論	1後		2		●	
	文書記録活動論	1後		2		●	
	文書記録資料論	1前		2		●	
	文書記録特殊資料論	1前		2		●	
	資料保存法	2前		2		●	
	データベース演習	2前		2			●
	構造化文書運用演習	2前		2			●
	情報リテラシー演習	2前		2			●
	ライブラリー資料演習	2前		2			●
	文書記録資料演習	2前		2			●
	小計(30科目)						

**専門科目**

修了に必要な単位数	科目名	必修	選必	
39単位	特別研究	必修	6	
	基礎科目	選択必修	12	
	PTL インターンシップ	選択必修	1	4
	専門科目	選択必修		10
	自由選択科目	専攻外の自由選択		6
	修士論文			

- 人文科学府
- 比較社会文化学府
- 法学府
- システム情報科学府
- ...

**自由選択科目  
(履修指導)**





## 学府名

大学院統合新領域学府

Graduate School of Integrated Frontier Sciences

## 専攻名(未定)

ライブラリーサイエンス専攻(仮称)

Department of Library Science

## 学位名(未定、複数を検討中)

## 学生定員(入学定員、収容定員)

入学定員 10名、収容定員 20名

## 開設の時期

平成23年4月1日

## ■専任教員11名

■非常勤教員  
(実践的側面)

- 図書館職員
- 大学・研究機関
- 九州国立博物館
- 民間企業
- 弁護士
- 弁理士
- ...

